資料 No.４

第２次田村市総合計画　将来像（案）

【再掲】１.「Tamura Future ワークショップ」意見・将来像

▼第１回（2021/2/28）「田村市」ってどんなまち？

良いところ	困っているところ
・自然が豊か ・子育てしやすい ・人情味がある、つながりがある ・観光資源が豊富（場所や食べ物） ・災害が少ない、地盤が強い ・交通アクセスが良い　等	・空き家が多い、街灯が少ない ・子どもの遊び場が少ない、少子化 ・若年層の流出、農業の担い手不足 ・働く場が少ない、地元企業の減少 ・商店街の活性化 ・車がないと不便、駅が寂しい　等

▼第３回（2021/6/27）「田村市」どんなまちにしたい？

Characteristic 【田村市らしさ】	Vision 【目指す未来像】	Sympathy 【共感・共鳴】
・自然豊か、人情深い ・やりたいことを応援してくれる ・合併前の町村の特色 ・多様性の教育、柔軟な教育ができる ・一つ一つの光るものがあるが、統一性がない 等	・若者に魅力が伝わるまち ・市民が活躍、皆が共に輝ける ・多様性 ・常にチャレンジ精神をもつ ・既存の企業と誘致企業の共存 等	・世代や地域を超えて学び合い ・みんなでつくりあげるまち ・わくわくしたまち ・四季が明瞭、季節によってまちの装飾 ・静か！大自然！ 等

「私たちの考える『まちの将来像』（※各グループでまとめた将来像）」

A　自然豊かな魅力と思いやりにあふれ誇れる田村市
B　コンパクトシティ、共助、継承と改革、夢をかなえられる環境、自慢できるものがある
C　投資で発展する街　タムラ
D　多様性のある、コミュニティがつながれるワクワクした町
E　田村にあるものを活かして、やりたいこと。若い人を応援する、多様性を認め合うまち～時には強行突破～
F　笑顔と元気で創り出す　中自然な田村市
G　「ふれあい」・「安心」・「チャレンジ」の風が吹く　高原都市　田村市

【再掲】２．ワークショップの言葉をなるべく生かした将来像　別案

（※事務局にて作成）

A　市民が活躍　みんなが共に輝く　～「ふれあい」・「安心」・「チャレンジ」の風が吹く　高原都市　田村市～
B　世代・地域を超えて学び合い　誰もがチャレンジできるまち　田村市
C　いまを活かし、これからを描く　わくわくできるまち　高原都市　田村市
D　今ある宝（自然、人等）を守り　無限の可能性広がる　たむライフ（Tamulife）
E　人・モノ・自然を守りつなぎ　「やりたい」が実現できるまち　田村市
F　ワクワクが止まらない　自然とチャレンジがいきるまち　田村市
G　多様性が織りなす　緑豊かな SDGs 推進都市（または、先進都市）　田村市
H　あぶくま（阿武隈）のど真ん中　市民主役のワクワクするまち
I　みんなの夢がここにある　あぶくま（阿武隈）のど真ん中　はつらつ高原都市　田村市
J　あぶくま（阿武隈）のど真ん中　はつらつ高原都市　田村市

参考

（１）将来像の事例

① バランス型（いわゆる、オーソドックスな将来像）

- 『笑顔』あふれる『人』と『地域』が輝くまち　もとみや
- みんながいつも元気でいられる活気あふれる町　（古殿町）

② まちの特徴型（まちの特徴を表すフレーズで「らしさ」を表現）

- ともに歩み、ともに創る『温故創しん（おんこそうしん）』会津若松
- 小さくても輝く　大いなる田舎・大玉村

③ メッセージ型（とがった表現、一点突破で頭に残る将来像）

- 『みんなとつながり みんなが活躍できる安心のまち桑折 』
  ～ 21 世紀の追分 夢と活力に満ちた「こおり新時代」の幕開け～
- ブナと生きるまち　雪と暮らすまち 心豊かに生きるまち 自然首都・只見の挑戦
  「人と自然の共生」

（２）主な時代潮流

- ＳＤＧｓ
- Ｓｏｃｉｅｔｙ５．０
- ポストコロナ社会（ニューノーマル）

【再掲】３．庁内（策定委員会幹事）への照会結果

策定委員会幹事に対して、「１．Tamura Future ワークショップ意見・将来像」及び「２．ワークショップの言葉をなるべく生かした将来像　別案」の**「各案（Ａ～Ｑ）への投票（理由含む）」または「新規案の提出」を依頼**した結果は、下記のとおり。

（１）投票結果

将来像案	投票数	投票理由
Ａ　自然豊かな魅力と思いやりにあふれ誇れる田村市	５	● わかりやすく、バランスが取れていて、田村市らしさが表現されている。自然豊かで人情深い田村市にあっている。 ● 田村市の良いところが全部入っている ● 豊かな自然は、当市をアピールできるポイントと考える。 ● 市イメージにふさわしい。 ● 自然というキーワードは必要であると思う。市民主役（みんなが主役）などのキーワードも組み合わせたらどうか。
Ｂ　コンパクトシティ、共助、継承と改革、夢をかなえられる環境、自慢できるものがある	１	● 職員の意見と将来像に近いキーワードが多いため。
Ｆ　笑顔と元気で創り出す　中自然な田村市	２	● 「中自然」を「自然豊かな」だと尚良い。 ● 何事をするにも一番大切なこと。市民全員が心も体も健康で、元気でなければ何事をするにも、「笑顔と元気」がキーワードであると日ごろ考えているため。
Ｇ　「ふれあい」・「安心」・「チャレンジ」の風が吹く　高原都市　田村市	３	● キーワードがわかりやすい。「風が吹く」のフレーズが新しい感じで勢いがある。 ● イメージが付きやすい３つのフレーズがあったから。 ● 多様性がうかがえ、高原のさわやかなイメージがある。
Ｈ　市民が活躍　みんなが共に輝く ～「ふれあい」・「安心」・「チャレンジ」の風が吹く高原都市　田村市～	３	● 市民一人ひとりの活躍なくして発展はない。共に輝けるようチャレンジし続けることが重要と考える。 ● 田村市の雰囲気の良さが伝わってくるため。 ● 輝く未来を想像することができ、風を用いることでさわやかなイメージを受ける。
Ｉ　世代・地域を超えて学び合い　誰もがチャレンジできるまち　田村市	１	● 引続き田村市が挑戦・成長維持できる頼もしい将来像が感じられる。
Ｊ　いまを活かし、これからを描く　わくわくできるまち　高原都市　田村市	２	● 今の市の良いところ、魅力を若者が未来に繋げるイメージ。 ● 現市長の方針にあうため。
Ｌ　人・モノ・自然を守りつなぎ　　「やりたい」が実現できるまち　田村市	２	● 具体性があり、資源を活かした活動が期待できる。今を大切にしつつ新しいことにもチャレンジしていく姿勢が窺える。 ● 「人・モノ・自然を守りつなぎ」の部分に共感できたから。
Ｋ　今ある宝（自然、人等）を守り　無限の可能性広がる　たむライフ（Tamulife）	１	● 田村市の歴史を子供・孫の後世に語り継いでいかなければならないため。
Ｍ　ワクワクが止まらない　自然とチャレンジがいきるまち　田村市	３	● みんながワクワクできるまちづくりを期待して投票。 ● ”自然”と”チャレンジ”という、一見相容れないながらも現状と将来性とを相関させたフレーズ。 ● インパクトがあり、第一印象の違和感が少ない。
Ｑ　あぶくま（阿武隈）のど真ん中　はつらつ高原都市　田村市	１	● 短いフレーズでイメージがしやすい。

（２）新規案

将来像案	作成理由
あぶくま（阿武隈）のど真ん中　自然とチャレンジがいきるまち　田村市	● 田村市の位置がイメージできるとともに「あぶくま」という地名を入れることによってブランド戦略が可能となる。また、自然をいかす産業（観光、食、アクティビティなど）や起業などのチャンス、努力が活かされるまちというイメージをつける、そんなまちということやそんなまちになる、するという意味から。
ひと・もの・自然をつなぎ　「やりたい」が実現するさわやか高原都市　田村市	● さわやか高原都市は田村市のイメージをよく表しているとともに、市民の中に根付いている。
いなからしく　わたしらしく　つづく　たむら	● 分かりやすくインパクトがある。

４．Tamura Future ワークショップ参加者の投票結果

第２次田村市総合計画策定委員会**幹事投票のうち３票以上の得票があったもの（４案）**及び第２次田村市総合計画**審議会委員及び委員会幹事から提出された新規案（６案）**の合計１０案を選定。

Tamura Future ワークショップ参加者が、選定した**１０案の中から、最も良いと考える将来像案１つを投票**した結果（３５票のうち１票白票）は、下記のとおり。

（１）策定員会幹事投票結果を受けての候補案（４案）

将来像案	投票数	投票理由
① 自然豊かな魅力と思いやりにあふれ誇れる田村市	２	（理由なし）
② 「ふれあい」・「安心」・「チャレンジ」の風が吹く　高原都市　田村市	７	（理由なし）
③ 市民が活躍　みんなが共に輝く ～「ふれあい」・「安心」・「チャレンジ」の風が吹く高原都市　田村市～	５	● 田村市が向かう方向が想像しやすいから。 ● 人口減少する中で、市民一人ひとりに活躍してもらわなければならないウェイトがますます大きくなると思うので市民が活躍というフレーズは重要だと思ったから。 ● 皆が輝くということ。
④ ワクワクが止まらない　自然とチャレンジがいきるまち　田村市	１２	● みんながいきいきとしてチャレンジしていくというのは魅力的だと思いました。 ● ワクワクする町にしたい。 ● 若い世代が可能性を感じ、共感できるものであることを重視しました。 ● ワクワクとした田村市になれば、“楽しい”と思って暮らせると思い、さらに自然と共生できる田村市であれば、老若男女と問わず、自然の中で伸び伸びと生活できると思ったから。 ● 高齢の方には十分田村の良さはアピールできてるので、Z 世代に響くであろうメッセージである事。 これから先、持続可能な社会を続けていくにあたって、自然を残しつつ、チャレンジが活きるって、ここに全て集約されていると思いました！持続可能な社会を守る為に、色々とチャレンジして行きたくなりました！ ● 頭に残りそう。覚えやすい。

（２）審議会委員及び策定委員会幹事の新規作成の候補案（６案）

将来像案	投票数	作成理由
⑤ あぶくま（阿武隈）のど真ん中　自然とチャレンジがいきるまち　田村市	２	● あぶくまの自然の成り立ちから自然をいかす産業で地域の活性を作り出す。
⑥ ひと・もの・自然をつなぎ　「やりたい」が実現するさわやか高原都市　田村市	３	● 町の発展のためなら、人だけではなく、さまざまなもの、ことを繋ぎ合わせて、実行する必要があると考えている為です。
⑦ いなからしく　わたしらしく　つづく　たむら	１	● インパクトがあってわかりやすい。他の市の方にも伝わりやすい。
⑧ あぶくまの真ん中で　笑顔と元気が光るまち　田村市 or（あぶくまの真ん中で　笑顔と元気が輝くまち　田村市）	０	
⑨ 阿武隈のど真ん中　みんなでともに　みんなの夢がかなう　わくわく田村市	０	
⑩ 自然と　思いやりが　あふれるまち　田村市 or（自然と　思いやりが　ひろがるまち　田村市） or（自然と　思いやりに　満ちたまち　田村市）	２	● 田村市の魅力はやはり「豊かな自然」であり、人と人とのつながりの中で「想いやり」があふれるような田村市として発展してほしいと願うからです。私自身も「想いやり」を信念として、地域のために貢献できるような活動を心がけて行って参ります。 「想いやりを考え 想いやりを形にし 想いやりを届け 想いやりを広げる」

【事務局が選定した将来像】

「ワクワクが止まらない　自然とチャレンジがいきるまち　田村市」

「ワクワクが止まらない」

- Tamura Future ワークショップでは「まちづくりを“ジブンゴト”に」をテーマとして実施。持続可能な社会を築くためには、これまで以上に**市民の参画が必要不可欠**となる。
- あらゆる世代の市民が、**自発的にまちづくりに携わり、**自らの意志や取り組みが市政や施策に反映されることで**満足度が向上し、日々の生活に嬉しさや楽しさを期待（ワクワク）できる**。
- 心躍らせることを表現する「ワクワク」という言葉は、小さな子どもをはじめとする、**次世代を担う若年層にも届くメッセージ**である。
- さらに、市民がずっと「ワクワク」し続けることは、一人一人の心を豊かにするだけでなく、ひいては、**「ワクワクできる田村市」が新たな魅力**となり、市外からの人を呼び込む交流や移住定住が促進される。

「自然とチャレンジがいきるまち」

- 市民アンケートやワークショップでは、田村市の良さとして、「自然」や「人」が多数挙げられた。
- 「自然」は全分野に関連する貴重な地域資源であり、「人」はまちづくりの根幹かつ地域の魅力である。ありのままではなく、これら**貴重な資源や魅力をどのように「活かす・生かす」かが重要**となる。
- 今後のまちづくりは、超スマート社会、社会のデジタル化、ポストコロナ等かつてない社会情勢を**「発展のチャンス」と捉える発想とともに、前例にとらわれない積極的な行動（チャレンジ）が不可欠**となる。
- あわせて**「チャレンジできる」「チャレンジを応援する」ことが当たり前（自然）となる地域づくり**を目指す。